



合同合宿
いわき・瀬谷・小山



食べてる時が最高！！



小藤投手

直井の果敢な走塁



飄々と、門屋投手



服部・センター前へ



土井投手・良さそうですね

試合前のノック



Never give up your Dream・・・あきらめない気持ちが未来を変える

小山ボーイズニュース

NO. 26

発行責任者

〒323-0820 栃木県小山市西城南7-6-9 N.P.O法人小山ボーイズ球団 飯田研二

東日本大震災に負けるな！心機一転・行くぞ全国！

第9期新入団選手紹介

春ですから、明るい話題から行きましょう。今年も活き活きとしたヤル気のある選手が入団してくれました。

高橋典寿 美田中学校

薄井唯人 小山第三中学校

高橋祐太 桑中学校

日下部壮太 間々田中学校

池田翔貴 桑中学校

井崎幹太 大平南中学校

篠原魁六 国分寺中学校

大橋亮真 国分寺中学校

西村崇斗 小山中学校

高橋翔太 姿川中学校

海老沼啓介 古河第二中学校

福島大樹 野木第二中学校

松本真奈 栃木西中学校

齋藤祐貴 大谷中学校

岩本 丈 関城中学校

生井伸治 美田中学校

千葉翔平 境中学校

赤坂峻太 佐野南中学校

熊谷寛大 結城中学校

伊藤雅祥 佐野南中学校

亀田健人 小山第三中学校

多並大地 総和南中学校

鈴木夏輝 結城中学校

以上、二十三名が毎日少しずつ努力することを覚え、良きライバルとして、良き仲間として、心身共に大きく成長するように、球団は応援し続けます。小山ボーイズに入団して良かったと言えるように、精一杯がんばろう。

いろいろな経験

この度の東日本大震災では、東北地方をはじめ、被災地となった皆様に心より、お見舞い申し上げます。

三月十一日、小山市では震度5強の地震でした。いつものように「すぐにおさまるよ。」と心の中では思っていました。しかし、地は揺れ、建物には大きなヒビが入り、大停電は信号機を停止させ、道路は大渋滞、辺りは真っ暗で、非常用電源が燃料不足に陥るも、ガソリンスタンドは機能せず。新幹線が停止した影響で、避難者は後を絶たず。それは、あつと言っ間の出来事だった。私がテレビで凄まじい災害だと知ったのは22時頃。避難者支援のため、その夜は車中での仮眠でした・・・。

野球の練習は、もちろん自粛です。土日は多少動きましたが、照明なんてとんでもない。すぐに春休みでしたので、我慢できないといけません。

小山ボーイズも救援物資を集めようと、震災の数週間後ですが動きだして、団ボールで50箱ほど、東北の菅田支部長の所に届けることができました。(菅田支部長と竹村渉外部長(小山))

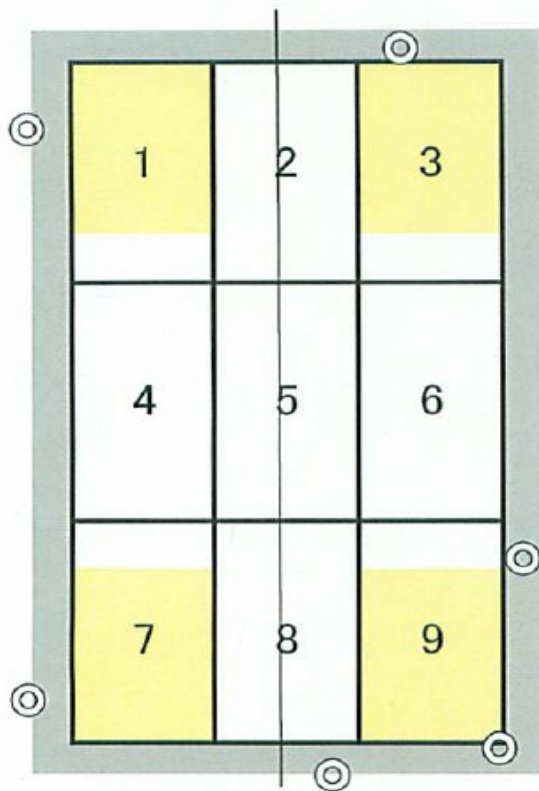
合同合宿で交流

5月の連休には、いわきボーイズと合同合宿を張りました。目一杯野球をやりましょうというよりも、中学生同士の交流ができて、活気があればそれでいいと思います。いわき野田・小山新島の両監督のつながりで実現し、横浜瀬谷の杉山監督が合流し、賑やかな合宿が出来たことは大きな収穫です。いわきボーイズには、未だに体育館で避難生活をおくる選手もいて、今回も3チーム雑魚寝状態ですが、よい思い出になったのではと感じています。強面の野田監督の表情にも「心からありがとう」というものが伺え、カッコイイ言葉など全くいらぬ素晴らしい交流になったのではと満足しています。小山ボーイズとしては、関東ボーイズリーグ大会を早々と終戦し、チーム事情としては、重苦しい雰囲気の中、力を出してくれたのが父兄の皆さんの一致団結した力でした。感謝の連休でした。



大会を早々と終戦し、チーム事情としては、重苦しい雰囲気の中、力を出してくれたのが父兄の皆さんの一致団結した力でした。感謝の連休でした。

シンプルにベースボール



ストライクはストライクゾーンをボールが通過したものです。経験では全部がそうとも限りません。際どいところの取り捨てるが大きな問題にもなります。

元々ストライクとは「打つ」という意味で、打てる球を打者が見逃したとき、審判が「打て」と言ったものがストライクだったそうです。現実的には「これは打てない」というストライクもあります。

ストライクゾーンというものは、それぞれのアンパイアが自分なりに、形として持っているのではないのでしょうか。

ただ、あくまでも球場があって、審判員がいないとどんなに監督と選手が野球をしたくてもできません。ですから審判員には、権限と責任があるのです。

ストライクゾーンを通る球がストライクと判定され試合は進行しますが、打てそうな球はどんどん打てば審判に苦勞をかけることがなくなります。

しかし、問題はフォアボールというルールです。これは人間心理をうまくついたルールですね。バットを振らずして進塁できるというのですが、これが審判を苦しめ、作戦を巧みなものに行っていると看做されてはなりません。時として選手の考えているストライクゾーンとアンパイアのストライクゾーンは同じではない。カウント 2-3 は打者は楽しんで一塁にいけるかどうかの瀬戸際、ボール球に手を出して三振するも

のなら、監督に怒鳴られるし、投手はストライクを投げたいが打たれそうな気がするということですが、基本的にはシンプルに、打てるボールは打ちましょう。どんどん打ってください。投手は切れのよい球をリズムよく投げれば良いこと。捕手は投手に気分よく、リズムのよいリードをすればよい。そうすれば審判も、気分よく的確なジャッジができるというものです。

あまり気分よく行き過ぎて困らないように、特に捕手は気をつけて際どいところに投げさせるべきですか。

旅行のことなら、
たび倶楽部
感動との出会い
たび倶楽部
海外旅行～日帰り旅行
ご相談は**たび倶楽部**
TEL 0282-62-2813

小山ブランド
おとん弁当
<炭火焼肉 600円>
これは美味しい！
話題沸騰中！
TEL&FAX 0285-23-5329

BASEBALL
PRO SHOP
石川スポーツ
TEL 0282-24-3161
専門スタッフが心からアドバイスをします。

LPガスHOTライン
本社（小山市出井）
0285-30-1011
下野支店
0285-53-7751
(株)トチネン

野 球 考 II

少年野球の指導者は、基本的に「子ども好き」「野球好き」であることに間違いはない。そうでなければ、無報酬で毎日の貴重な時間を少年野球に費やすことなどできません。

チーム力が上がる要員として、指導者が「この子は伸びる」という期待や信念を持ち続けて接していると、子どもたちはよく伸びるといわれています。成長のスピードには違いはありますが、中学生は必ず上達できる世代ですから、指導者が、子どもたちの可能性を信じることによって生まれる効果は大きいと考えます。期待や暗示の効果を利用することは絶対に必要です。

選手たちにも、高い目標を設定させ、高い意識で毎日の練習に取り組むことが重要です。能力の違いは簡単に埋まるものではありませんが、意識の差はその気になればその瞬間から詰めていくことができます。自らやろうとすれば、必ず良い結果しか生まれないということです。

我々の活動なら、中高一貫の6年間というスパンで育成するという考え方が、指導者にも親にも必要だと思います。焦る必要はないですから、子供の成長にあわせた期待をして欲しい。なぜなら、子どもたちは未完成な存在であり、今はできなくても、時間がたてばできるようになる存在だからです。

試合に出る出ない、活躍するしないで一喜一憂することは、応援者としては気になることですが、焦らずに子供の成長を見守っていただきたいと思います。

活動の基本から言えば、「できる子」と「できない子」を区別するのではなく、できない事をどれくらいやろうとしているかで評価することが大切です。また選手自身も、どのような努力をして、どれだけ上達したのかを、実感できれば良いことだと思っています。

ボーイズでの3年間で土台作りと考えて練習に励んで、高校の3年間で花開いて欲しいものです。

野球の魅力は、遠くに投げる・遠くに飛ばす・速い球を投げられるようになることです。基本的な動きを繰り返して練習し、野球人としての体を作ることです。大人を目をあまり気にせず自ら思う存分動くことだと感じています。団体行動としての規範を守つ

GO!GO!
OYAMA BOYS
小山ボーイズを応援する会

て、真剣に取り組む中で、野球も団体行動も積極的にミスを連発してもらわないと本人が覚えないということになるのです。これは注意・指導を受けるという事で、「お前は駄目なんだ」と怒られている訳ではない。

特にグラウンドでの勉強は、チームメイトが注意されている姿やプレーしている動き・グラウンド整備や道具の準備などを見て、自分も「あうしょう」「こうしょう」と思う事が勉強と言えます。特に意識の高い先輩たちの練習態度を見ることです。

肝心なことは、野球は失敗の多いスポーツなので、指導の中で結果を欲しがると「駄目・駄目」が多すぎると、子供の主体性が失われ、自ら動く力を奪ってしまいます。子供たちは、達成感が欲しいことと自分を認めてもらいたいのです。

少しでも、良いところがあったら「今のプレーは良かったな」とタイミングよく誉められたり、良いアドバイスをもらった時には、うれしくて頑張るようになります。野球を「やらせている」という選手たちが、自ら進んで「やっている」という姿勢に変わってくることが実感できれば最高です。子供が好きですから。

体作りに、とにかく食べよう。

① 主食(炭水化物)・・・エネルギー集中力の維持



④ 果物(ビタミン・炭水化物)・・・疲労回復、ケガの予防、ストレスを抑える、風邪の予防



② おかず(たんぱく質・脂質)・・・強いカラダをつくる材料



⑤ 乳製品(たんぱく質・ミネラル)・・・強い骨を作る、精神を安定させる、筋肉の動きをスムーズにする



③ 野菜(ビタミン・ミネラル)・・・体調を整える



炭水化物(糖質)・脂質・たんぱく質・ミネラル・ビタミンの5大栄養素が整った食事です。スポーツをするうえで、5大栄養素にはそれぞれの役割がありますので、どれも欠かさずバランスよく摂ることが大切です

